

南越清掃組合ストックヤードの運営等に関する  
サウンディング型市場調査結果の公表について

令和4年11月16日

南越清掃組合

1. サウンディング型市場調査実施の経緯

南越清掃組合においては、旧第1清掃センター跡地にストックヤードを整備し、令和6年4月1日に供用開始を予定しています。ストックヤードは、金属類、電気製品等を回収、保管するもので、焼却や破砕等の処理は行わず、リサイクル業者に引き渡しを行うまで一時保管するものです。今回、幅広く意見、提案を求め、今後のストックヤードの運営方法の検討の参考にするため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2. サウンディング型市場調査の実施スケジュール

令和4年10月 5日	サウンディング型市場調査実施要領の公表
令和4年11月 1日～ 令和4年11月15日	サウンディング型市場調査個別対話の実施
令和4年11月16日	サウンディング型市場調査結果の公表

3. サウンディング型市場調査結果の概要

参加事業者は3社ありました。

対話の対象項目	対話概要
ストックヤードの運営に関すること	A社  融雪設備の整備、水道栓と監視カメラの設置の提案を受けた。人員の採用等を行う必要があるため、運営開始前に半年程度の準備期間が必要であること、コスト面や安定的なサービス提供のため、運営業務の契約期間については5年程度が望ましいとのことであった。
	B社  融雪設備の整備、ストックヤードの屋根に太陽光発電のパネル設置の提案を受けた。運営開始時から1、2年は搬入状況の確認のため随意契約での契約を、それ以降は3～5年間の長期間での契約が望ましいとのことであった。
金属類、電気製品等の回収に関すること	C社  金属類の回収については、保管用コンテナが満杯になったら、随時回収することとし、シャッターの高さが5m程度あればフックロール車でスムーズに搬出が可能である。紙類の回収については、保管用のかごを、段ボール、新聞、雑誌・雑紙用に設置し、随時回収する。電気製品については、直営では回収を行っていないとのことであった。